

冬道の運転はいつもより慎重に！

<運転者は・・・>

○ 運転前に車両の点検整備！

スタッドレスタイヤの装着はもちろん、チェーンなどの滑り止め装置の準備やワイパー、バッテリーなどの点検をお願いします。

○ 出発前に屋根の雪や車の窓ガラスの霜を落とすべし！

皆さんこんな経験あるのでは？

「赤信号でブレーキを掛けたら屋根の雪がフロントガラスに落ちてきた！」「出発しようと思ったら窓ガラスが凍っていて前が見えない！！」「窓は凍っていないけど、外気温との差があって窓が曇る…」etc...

車体の雪は全て降ろし、余裕をもって、出発前にあらかじめエンジンをかけるなど、車の窓の視界を確保してから運転を開始しましょう！

～出発時間が遅くなれば気持ちが焦る！

安全運転は早めのエンジンスタートから～

○ 雪が降らなくとも、道路は凍る！！

日陰はもちろん、山間部やトンネル出入口、橋梁だけでなく、街の中でも朝晩冷え込むと道路は凍結します！雪が降っていない状況でも、道路が濡れているように見れば路面凍結（ブラックアイス）状態の時もあります。

運転は慎重に、長めの車間距離、スピードを抑えた運転を！！

<歩行者は・・・>

○ 道路横断時が最も危険！！

運転手に「道路を渡る」という意思を示しましょう！

○ 「予測」が重要！

接近してくる車両が「速いか遅いか」、接近してくるまでに渡りきれるか「予測」し、横断歩道がない場所では、無理に横断せず、車両が「停止」する「通過」するまで待ちましょう！

○ 横断中も車は接近しています！

進行方向ばかりに気を取られてはいけません！横断中も車が迫っています！左右の安全確認をしながら渡りましょう！

○ 夜間の道路横断は危険度MAX！！

夜間、運転手から歩行者は見えていない（歩行者に気付いていない）ことも多くあります。「運転手は自分に気づいている」という思い込みを持たないことが重要です！

反射材やライトを身につけて、自分の存在を運転手に気付かせてください。

1つではなく複数つけるとより効果的です！

